

令和3年度の日事連建築賞 小規模建築部門で、28点の応募作品の中から徳島会の環境デザインワークスの作品が優秀賞を受賞されました。おめでとうございます。

令和4年度の募集も始まっており、引き続き本会関係者の応募・受賞があることを願ってやみません。

審査講評

日事連建築賞選考委員会委員長
法政大学名誉教授
(有)富永讓・
フォルムシステム設計研究所代表

富永 讓

優秀賞 小規模建築部門

✦ 小さな石場建ての家

環境デザインワークス | 徳島会

23坪のコンパクトな住まいである。木質に囲まれた終の栖にふさわしい、落ち着いたきと快適さに満ちあふれている。〈未来の古民家〉を目指してとあるが、周囲の住宅産業がつくる風景から孤絶して、高床で建ち上っている。地方で活躍する若い設計者は木構法にこだわりを持って、林業や大工技術の継承に思いを馳せ愛情を注ぎ、丁寧に素晴らしい住まいをつくり上げた。設計説明も的確で信頼でき、都市の軽いフットワークの設計者層とは別に、こんな誠実な取り組みが地方の設計の分厚い層を作ってくれたらと頼もしく感じた。

特集 令和3年度 日事連建築賞

優秀賞 小規模建築部門



地上から1.5mほど上げ高床にした外観

✦ 小さな石場建ての家 ▶ 環境デザインワークス | 徳島会

県土の76%を山林が占める徳島県では、スギの長伐期林業によって治山治水を行ってきた。山の有り様に木材の使い方を合わせるデザインを取り込むことで、山の循環の一部としての土着木造建築を目指した。「未来の古民家」となるよう古美る自然素材で構成した。構造は、継手・仕口が全部寄り集まって「総持ち」になっており、木組のめりこみや足元をフリーにした石場建てで柳の木のような柔構造になっている。大工の手刻みによる木の加工が内部空間に秩序と安心感を与える。



大工の手仕事を感じられる内部空間

建設地	徳島市
用途	一戸建ての住宅
構造	木造
階数	地上1階
敷地面積	226.25㎡
建築面積	80.66㎡
延床面積	76.68㎡

(「日事連」2021年10月号掲載 なお、詳細は2022年2月号掲載予定)

この度はこのような素晴らしい賞を頂き背筋が伸びる思いでございます。今回は、山と繋がる小さな家を伝統的構法でつくりあげることにただただ必死で取り組みました。賞に値する華やかさも無く地味な木造建築ですが、そんな中でも自然光の取入れ方や開口部廻りのディテールなど自分なりに苦労しました。また、現地で審査員の方たちとお話しできたことは大きな学びとなりました。今後も地道に建築をつくっていきたくと思っています。

環境デザインワークス 清水 裕且

ひろあき

